

2010年 第3号 10月20日 発行 総号数 49

ふくらく通信

発行者 菅野 香織

♡ ご意見・ご感想はこちらへ ♡
〒980-8529 仙台市青葉区一番町1-16-5
河北仙版内「ふくらく通信」まで

※ または、ネット版へ
河北新報社運営のウェブサイト「ふらっと」にて、ブログの「ふくらく通信・ネット版」を開設しています。「ふらっと」は会員登録無料で、会費はコメントの書き込みやメールもできます。参加して下さいね。

鳥たちは、この自然環境に応じて生活している。鳥の存在は、その地の環境がどの様な状態かを知る一つの目安となります。
鳥がいる所にはその鳥の食になる生物がいるということ。それに鳥は種によって住む場を分けているので、適応できる場にならなければいけません。

11月頃になると広瀬川も、越冬のために痩せてくる水鳥が集まり、賑やかになります。
この数年は、ハクチョウも来ていましたが、今年も来るでしょうか。

今年も来るかな？
広瀬川に冬の瘦り鳥

鳥っこみつけ隊が これまでに観察した 冬の瘦り鳥たち

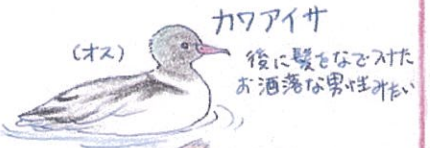
① 良く来る 冬の水鳥

- コガモ ・ オナガガモ ・ オバン
- キンクロハジロ
- スズガモ ・ カワアイサ



② たまに来る 冬の水鳥

- ミコアイサ ・ ホオシロガモ
- ヨシガモ ・ カムリカイツクリ



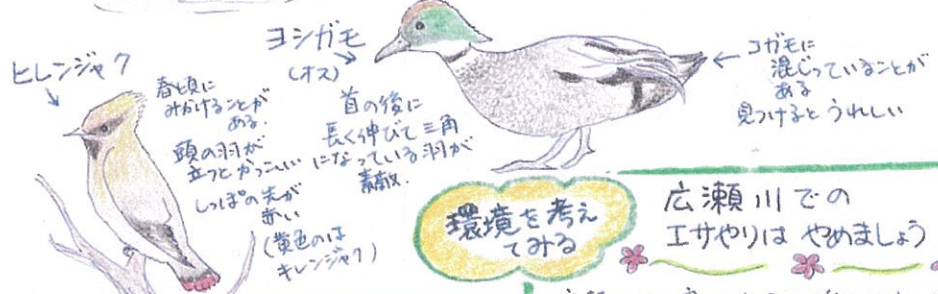
③ 良く来る 冬の小鳥

- ジョウビタキ ・ シメ
- ベニマシコ



④ たまに来る 冬の小鳥

- アカハシ ・ ヒレンジャク



環境を考えたおみくろ

広瀬川でのエサやりはやめましょう

広瀬川では、鳥が自分で採るエサが十分にありません。人が余分に与えると、自然のめぐりを悪くするおそれがあります。
また、トビやカラスが「人の食物を取っても良い」と間違えて学習をしたら大変です。周囲に迷惑をおよぼすエサやりはやめましょう。

広瀬川では、河川整備の工事が進められています。河川工事問題は、人と自然の均衡が問題になります。
人と自然が、より良い形で共存するため、河川敷の草地や木々も温存し、上手に手入れをしたいものです。
昔の姿にとらわれて、もいけないし、あまりに人工的な整備もいけません。今の町と、自然を見て、均衡を図ることが大切でしょう。

川は、市民みんなの財産であり、多様な生き物の居場所でもあります。忘れたいと思いません。

広瀬川は、鳥が自分で採るエサが十分にありません。人が余分に与えると、自然のめぐりを悪くするおそれがあります。
また、トビやカラスが「人の食物を取っても良い」と間違えて学習をしたら大変です。周囲に迷惑をおよぼすエサやりはやめましょう。